

広田っ子

～本物の笑顔が輝く広田小～

佐世保市立広田小学校 学校だより
第7号 令和5年11月17日(金)
文責 井上 文典

「本物の笑顔」に簡単アクセス
広田小HP QRコード



11月も中旬に入り、朝夕は秋寒を少し感じるようになり、街の木々も徐々に黄や紅の色が見られるようになってきました。

2学期は子どもたちが学びを生かす場面をたくさん見ることができます。運動会
はもとより、音楽発表会、町探検等において、練習や学習したことを披露したり、身
につけた礼儀やマナーを学校の外でも生かしたりしています。成果として、表現力、
コミュニケーション力が伸びていること等、今の子どもたちの成長の様子が確認できます。



学びを生かす学習は、アウトプットの学習でもあります。このアウトプットは学びが深まります。そし
て、学習に対する当事者意識、モチベーションと強く結びついていると考えています。そして、子ども
たちは「私はどうしようかな」と意識をします。そして、少しでもより良いものを表現しようと考えて
行動するようになります。

子どもたちは地域でのアウトプットの機会を通して、たくさんの人に褒めていただき自信を深めて
います。そして、学校へ帰ってきてからは先生とともにそのことを喜び、次への学習とつなげていま
す。

校外での学習があった日は、ご家庭でもそのことを話題にしてみてください。子どもたちは笑顔で
話をしてくれると思います。

良い学級にするために 自分たちで話し合っています

子どもたちに2つの力を身につけさせるために学級活動を充実させています。

- 個人としての意思決定の力(自分で決める力)
- 集団としての合意形成の力(主張するとともに、折り合いをつける力)



この2つの力を育てるために「学級会」を本気で実施しています。

「どんな学級にしていきたいのか」

「学級目標のために 自分たちでどんな取組ができるのか 必要なのか」

「お楽しみ会をしたい みんなで遊びの内容を考えたい」など、議題は様々です。

学級会では、自分の考えをしっかりとっておく必要があります。また、個人としての意思を決定し
なければならない場面もあります。だれかの真似や先生に対する忖度ではなく、自分の意思として
決めることを学びます。これはとても大切な学びです。

合意形成は「建設的に折り合う」の力が必要です。合意形成のためには、だれもが理解し、納得で
きる根拠が必要になります。「お楽しみ会」の中身を決める時等の合意形成は白熱します。これも
大切な経験です。

子どもたちは本気で話をしています。教科の学習以上に自分なりの根拠をもって発言している
子がたくさんいます。時には、「もっとうまく言えたらみんなを説得できたんだけどな」と自分の
発言を振り返っている子もいます。本気の発言だからこそ本気で振り返っています。

学級会は、学級という自分たちのコミュニティーを自分たちでつくっていくための会議です。

今日も白熱した学級会があります。子どもたちが話し合う姿に明るい未来を感じています。

6年生に講話をしました

6年生は中学校校舎で、一生懸命頑張っています。

すべての学級にすばらしい学級目標があります。11月9日(木)にその学級目標をもとに今の自分たちの言葉や行動について振り返ってもらいました。これから、さらに良い学級、良い学年になるための考えを整理し、実践する機会とするとともに、一人一人自分のことをしっかり磨き、自分を本気で大切にいくためのきっかけにしてほしいという思いを語りました。

以下は、その時に配布した資料の一部です。

あなたは 認められていますか
あなたは ほめてもらっていますか
あなたは 許してもらっていますか
あなたは 共に喜んでもらっていますか

あなたは 人を認めていますか
あなたは 人をほめていますか
あなたは 人を許していますか
あなたは 仲間と共に喜んでいますか

認められたい

ほめてもらいたい

許してもらいたい

自分と共に喜んでもらいたい

この4つのことは 自分の心が元気であるためにとっても大切に 純粋な願いでも 満たされないことがある 満たされない日が続くと
「どうせ がんばっても・・・」「どうせ 無理」と考えるようになる
そして 言葉が変わり 表情が変わり 行動しない自分へと変わっていく

・・・で どうすればいいの？

自分でできることがある

まず 小さなことでも 頑張っている自分を 自分でしっかり認めよう 自分をほめよう
自分への「心の言葉」をあたたかい言葉に変えよう これは甘えではない
そして 人を認めよう 温かい言葉をかけよう 温かい表情 眼差しで

これが 大切な一歩

それが できるか できないかではない するか しないかである

それを 決めるのは自分 どんな自分になるのかを決めるのは 常に自分

令和5年11月9日 井上 文典

語った後、すぐに学級会を開いた学級がありました。
小学生としてあと5か月、本気で語り合います。